

# 交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

## 田原市・設楽町 交流スタンプラリー

平成2年に姉妹提携し、交流を続けている田原市と設楽町では、今年度もスタンプラリーを開催します。応募用紙に指定のスタンプを押して応募すると、抽選で賞品が当たります。スタンプラリーに参加し、設楽町の山の自然を満喫してみたいはいかがですか。

### [開催期間]

4月15日(水)～平成22年2月28日(日)

### [参加資格]

田原市または設楽町にお住まい・お勤め・在学の方

### [応募方法]

田原市の方は、設楽町のスタンプを3つ集めるか、設楽町のスタンプ2つと田原市のスタンプ1つを集め、必要事項を記入のうえご応募ください。



### [賞品]

国内旅行券(1本)、グリーンメッセージ1万円分ペア宿泊券(4本)、設楽特産品(40本)など全部で105本

### [お問い合わせ]

政策推進課 ☎23局3507

設楽町津具総合支所管理課 ☎(0536)83局2301

※詳しくは、市役所、渥美支所、赤羽根市民センター、各ラリースポットにある応募用紙またはホームページ (<http://www.city.tahara.aichi.jp>) をご覧ください。

### [応募先]

田原市役所または設楽町津具総合支所

### ●市内に応募用紙を配布しているラリースポット

「道の駅」田原めっくんはうす、シェルマよしご、蔵王山展望台、サンテパルクたはら、赤羽根文化広場、「道の駅」あかばねロコステーション、渥美文化会館、「道の駅」伊良湖クリスタルポルト

大地震や列車・航空機事故といった大規模災害が発生したとき、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的なトレーニングを受けた災害派遣医療チームです。「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字をとり、DMATと呼ばれています。

1チームは、医師1人と看護師2人、業務調整を行う事務員など2人の合計5人を基本として構成されます。救急救命士がメンバーに入ることもあります。

### ■活動内容

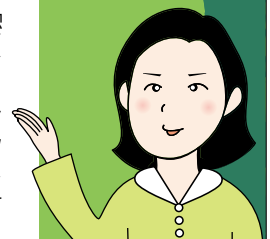
- ▼災害現場でのトリアージ、応急処置
- ▼被災地内での医療情報収集と伝達
- ▼被災地内の病院における診療の支援
- ▼ヘリコプターや救急車などで搬送中の患者の監視、必要な処置など

皆さんは「DMAT」という言葉をご存じですか? 「ディーマット」と読むこの言葉、災害時のニュースやテレビドラマなどで目にした方もいるかと思いますが、今回はこの「DMAT」についてご紹介します。

のりんの

## 防災まめ知識

47



### ■多くの命を助けるために

自然災害だけでなく、事故など大きな災害が発生したとき、一度に多くの傷病者が発生すると、被災地の医療機関だけでは対応しきれない場合が想定されます。このようなとき、DMATが被災地に速やかに向かいます。緊急治療や病院支援のほか、対応困難な重症者をヘリコプターなどで搬送することにより、処置や治療を効率的、効果的に行います。こうしたことで、より多くの命を助けることができます。



### ▼防災対策課 ☎23局3548

※トリアージ：災害や大きな事故などでたくさん傷病者が同時に発生したとき、病気の緊急度や重症度を判定し、治療の優先順位を決めることをいいます。

忍びよる巨大地震